

2025年3月26日  
 南海電気鉄道株式会社

## 2027年度に高師浜線において GOA2.5 自動運転を開始

今後の生産年齢人口減少により、乗務員の確保が難しくなるなか、限られた経営資源を有効に活用しながら列車本数を維持し、持続可能な鉄道事業の実現を目指してまいります

南海電気鉄道株式会社(社長:岡嶋 信行、以下「南海電鉄」)は、2022年から GOA2.5 自動運転運用に向けた実証試験の準備を開始し、和歌山港線(営業キロ程:2.8km)で走行試験(延べ 7,200km)を実施してきました。この度、有識者からなる GOA2.5 自動運転検討委員会による安全性等の評価を受けたことから、2027年度に高師浜線(羽衣駅~高師浜駅間(営業キロ程:1.4km))において、GOA2.5 自動運転を開始する予定です。

今後の計画としては、2025年度中に、GOA2.5 自動運転に必要な地上設備と車両改造のための詳細設計、および機器類等の製造を開始します。2026年度は、地上設備の施工および車両改造を完了し、走行試験を実施します。その後、2027年度には、GOA2.5 係員の養成を行い、GOA2.5 自動運転を開始する予定です。



GOA2.5 自動運転車両(8300系)

南海電鉄では、中期経営計画「共創 140 計画」を策定し、その事業戦略の一つに「公共交通事業の持続可能な経営」を掲げ、自動運転の実現に向けた取り組みを行ってきました。今後の生産年齢人口減少により、乗務員の確保が難しくなるなか、限られた経営資源を有効に活用しながら列車本数を維持し、持続可能な鉄道事業の実現を目指してまいります。次期中期経営計画においては、自動運転技術の導入をはじめ、鉄道保守における予防安全の強化や業務効率をさらに推進します。持続可能な事業運営を実現するため、デジタルテクノロジーの活用にも積極的に取り組んでまいります。

### 当社が目指す「GOA2.5 自動運転」とは

係員付き自動運転(GOA2.5)は、運転士の資格を持たない係員が列車の前頭に乗務する方式で、既存設備を活用して導入することが可能です。そのため、安全性を確保したうえで投資コストを抑制し、費用対効果を高めることができます。

自動化レベル	乗務形態のイメージ	導入状況
GOA0~2	運転士が乗務	GOA0 (路面電車) GOA1 (一般的な路線) GOA2 (東京メトロ丸の内線、つくばエクスプレス等)
GOA2.5 ※IEC及びJISには定義されていない、日本が独自に設定したレベル	運転士の資格を持たない係員が列車の前頭に乗務 <役割> 緊急停止操作、避難誘導等	JR九州 香椎線
GOA3 添乗員付き自動運転	添乗員(運転士ではなく、緊急停止操作も行わない)が乗務 <役割> 避難誘導等	一部のモレール
GOA4 自動運転	係員(※)の乗務無し ※ 運転士、車掌、運転士ではない係員、添乗員	(一部の新交通等:ゆりかもめ、神戸新交通等)

GOA:Grade Of Automation  
 ※IEC 62267(JIS E 3802):自動運転都市内軌道旅客輸送システムによる定義  
 (IEC:国際電気標準会議(International Electrotechnical Commission)電気及び電子技術分野の国際規格の作成を行う国際標準化機関)

## 1. 開始時期

2027年度(予定)

## 2. 実施路線

高師浜線（羽衣駅～高師浜駅 ※営業キロ程:1.4km）

※ 全線高架区間、踏切なし

※ 平日ダイヤ:上下130本 土休日ダイヤ:上下124本（2025年3月現在）

※ 種別:普通車のみ(2両編成)

## 3. これまでの取組み

2022年7月から和歌山港線(和歌山市駅～和歌山港駅、営業キロ程2.8km)における、GOA2.5 自動運転実証試験の準備を行い、2023年3月に有識者からなる GOA2.5 自動運転検討委員会による安全性等の評価を開始、2023年8月29日から自動運転による走行試験(延べ7,200km)を実施してきました。その結果、2025年3月に、GOA2.5 自動運転検討委員会による安全性等の評価を受け、GOA2.5 自動運転の運用目途が立ちました。

[2022年6月16日報道発表資料:「和歌山港線における『自動運転実証試験』に向けて事前準備開始](#)

[2023年6月13日報道発表資料:「係員付き自動運転\(GOA2.5\)実現」に向けて自動運転走行試験を開始」](#)

[2023年9月6日報道発表資料「【お知らせ】自動運転走行試験を8月29日から開始しました」](#)

### 【2022年7月からデータ作成、地上装置、車両設備を準備】



地上設備等の測量(南海電鉄)



データ作成(京三製作所)



地上設備(ATS-PN)



車両設備(乗務員操作部)

### 【2023年8月29日夜間から走行試験を開始】



初回試験(8月29日夜間)の様子

以上